

和歌山市まちなか暮らし・オンリーワンの魅力向上まちづくり(再開発)
【第3回変更】

わかやまけん わかやまし
和歌山県 和歌山市

令和8年7月

社会資本総合整備計画

社会資本整備総合交付金

令和08年07月23日

計画の名称	和歌山市まちなか暮らし・オンリーワンの魅力向上まちづくり（再開発）												
計画の期間	令和06年度 ～ 令和10年度（5年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	和歌山市												
計画の目標	・ 拡散型都市からの脱却によって中心部からの人口流出の抑制を目指し、本市の都市計画マスタープラン及び立地適正化計画で掲げる将来都市像である多極型のコンパクトなまちづくりの実現を図る。 ・ 都市機能の集積と都市居住の誘導を行う中心拠点の形成、並びに中心拠点と各生活拠点を結ぶネットワークの形成を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	33,887	A	33,887	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R6当初	R8末	R10末
1	まちなか居住人口の比率の増加を目指す。89‰（R5）⇒91‰（R10） 市内全体人口に対するまちなか居住人口の比率を算出する。（調査基準日：各年10月1日）			
		89‰	90‰	91‰
2	公示地価の5％上昇を目指す。579千円/㎡（R5）⇒608千円/㎡（R10） 経済動向を示す指標として、本市の玄関口であるJR和歌山駅及び南海和歌山市駅の近隣2箇所の公示地価の合計（国土交通省地価公示（標準値）和歌山5-1・5-7）を調査する。（調査基準日：各年1月1日）			
		579千円/㎡	596千円/㎡	608千円/㎡
3	駅乗降客数の増加を目指す。52千人（R4）⇒62千人（R10） 本市の玄関口であるJR和歌山駅及び南海和歌山市駅の乗降客数の合計を調査する。			
		52千人	58千人	62千人

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	○

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	和歌山市	間接	和歌山駅前 友田町 3 丁 目地区市街 地再開発準 備組合	－	－	基本計画等作成等事業	基本計画作成 推進計画作成 コーディネート業務 1.2h a	和歌山市	■					11		－	
	A16-002	住宅	一般	和歌山市	間接	和歌山市駅 前南地区市 街地再開発 準備組合	－	－	基本計画等作成等事業	推進計画作成 0.7ha	和歌山市	■					7		－	
	A16-003	住宅	一般	和歌山市	直接	和歌山市	－	－	基本計画等作成等事業	コーディネート業務 費用便 益分析及び税収効果評価	和歌山市	■					7		－	
	A16-004	住宅	一般	和歌山市	間接	和歌山駅前 友田町 3 丁 目地区市街 地再開発組 合	－	－	和歌山駅前友田町三丁目 地区市街地再開発事業	商業、住宅等 1.2ha	和歌山市					■	■	17,205	1.13	－

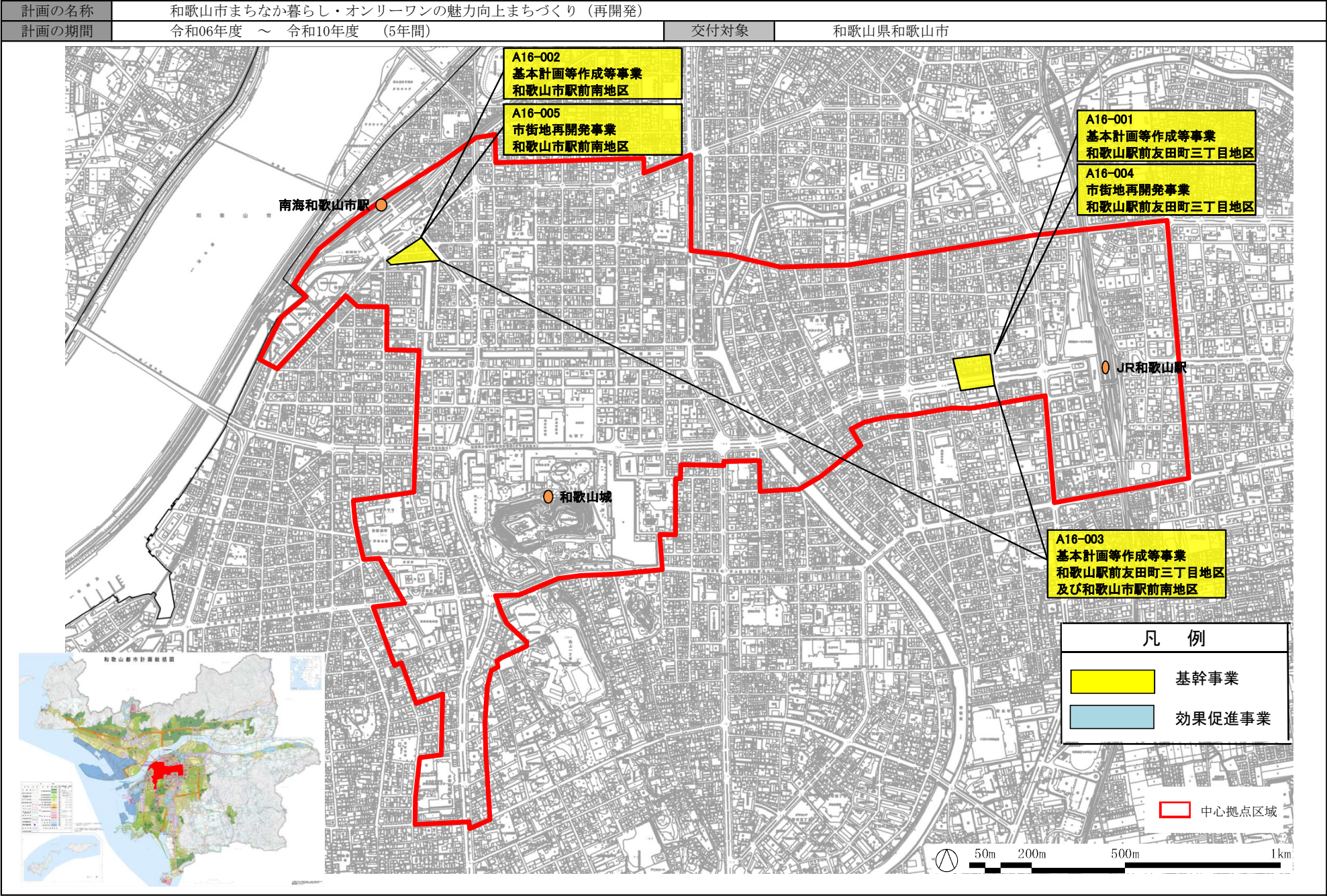
A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
住環境整備事業	A16-005	住宅	一般	和歌山市	間接	和歌山市駅前南地区市街地再開発組合	－	－	和歌山市駅前南地区市街地再開発事業	商業、住宅等 0.7ha	和歌山市			■	■	■	16,657	1.14	－
											小計						33,887		
											合計						33,887		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R06	R07			
配分額 (a)	9	0			
計画別流用増△減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	9	0			
前年度からの繰越額 (d)	0	9			
支払済額 (e)	0	9			
翌年度繰越額 (f)	9	0			
うち未契約繰越額(g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考図面)



事前評価チェックシート

計画の名称： 和歌山市まちなか暮らし・オンリーワンの魅力向上まちづくり（再開発）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性	
⑥円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

[illegible]